

ARECプラザ 第109回リレー講演会

経営・金融・ベンチャー分野

日時：2010年2月18日(木) 15:00~18:10

終了後、交流会 [参加費：無料]

場所：AREC (上田市産学官連携支援施設) 4階

(上田市常田 3-15-1 信州大学繊維学部内 Tel: 0268-21-4377)

講演 1

15:00~15:40

演題 『産業用デジタルプリンタの現状と将来』

講師：株式会社ミマキエンジニアリング 代表取締役社長 池田 明氏

概要

パプルの崩壊に伴い大量生産から少量多種生産への転換、また市場の急激な変化に追従するためのクイックレスポンスは必須であります。また、インターネットの普及による印刷物の急激な減少により、印刷はアナログ印刷からデジタル印刷への転換が求められております。売れた分だけ生産するオンデマンド生産環境に優しいデジタルプリントに取組むための産業用インクジェットプリンタの現状と将来を説明いたします。

講演 2

15:40~16:20

演題 『激変する日本のマザーマシン業界からみたグローバル経済』

講師：株式会社アルプスツール 代表取締役 網島 武寛氏

概要

世界金融危機発生直後の世界同時不況の中で深刻な影響を受けた製造業、中でも最悪の苦境に直面した日本の製造業が活路を見い出して生き延びる策はあるのか？数々の不況を乗り越えてきた日本経済、それを支えてきた日本の製造業は、過去経験したことのない厳しい状況にあると理解している。一昨年末まで27年間連続して世界トップの生産高を維持し続けたモノづくりのマザーマシン、日本の工作機械工業界の現状と挑戦を参考にに取り上げてみた。

休憩 10分

講演 3

16:30~17:20

演題 『(現況の経済状況と)八十二銀行のお取引先支援活動のご紹介』

講師：株式会社八十二銀行 法人部 コサルティング 営業グループ グループ長 青木 広治氏

概要

足元の経済動向、景気を支えた自動車業界を振り返りながら、弊行と弊行がグループで参加している地域力連携拠点で扱ってきたお取引先の支援、特に経営や事業展開のお手伝いについてご紹介します。

講演 4

17:20~18:10

演題 『景気浮揚へのキーワードは』

講師：日本経済新聞社 長野支局 支局長 村田 文教氏

概要

日本経済は2008年秋のリーマンショック以降、09年は回復に向かい最悪期は脱した。しかし、新政権に交代して以降、デフレ状況に陥り、今年、二番底がささやかれている。政府は2010年度予算で子ども手当など国民への配分を手厚くし、公共工事を大幅に減らすなど企業への供給を絞ろうとしている。縮み思考が鮮明になり、自信を失う日本経済、長野県内の経済が本格的に回復して、強さを取り戻すためには、今、何が欠かせないのか。そのキーワードを探る。

お申込先

ARECプラザ宛 メール (mousikomi@arecplaza.jp) またはファックス (0268-21-4382) でお申し込みください。

ARECプラザ 第109回リレー講演会 参加申込書 [平成22年2月18日(木)]			
企業・機関名			
参加者名			
所属・役職		電話番号	
メールアドレス		ファックス番号	

ご記入いただいた個人情報(御社名、所属・役職、氏名)は参加者名簿として、講演会参加者の方々に配布する予定です。